

令和 6 年度 自己点検・評価報告書

《評価対象期間》

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 3 1 日

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校
校長 江崎 久

令和 6 年度 自己点検・評価報告書

学校法人 都築学園 専門学校 第一自動車大学校は、令和 6 年度の自己点検・評価を実施致しましたので、学校教育法施行規則第 189 条に則り「令和 6 年度 自己点検・評価報告書」を公表致します。

本校は、教職員一同、教育の質の向上、法規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【自己点検・評価責任者】

校長 江崎 久

【評価対象期間】

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 31 日

【作成日】

令和 7 年 4 月 22 日

【第一自動車大学校の概要】

1 教育理念目標

本校は平成元年創立で 36 年目を迎える歴史ある自動車整備士養成の学校である。

創立以来「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送りだしたい」を教育目標とする。

2 令和 6 年事業計画目標

(1) 教育

ア 本年度の教育目標

カードクター級整備士コースの授業の中に、電気自動車等急速に進化する自動車の趨勢を捉え、各社ディーラーを招いての日々新しくなる先進技術に関わる出張授業を積極的に取り入れ、よりハイレベルな整備技術を学ばせ、卒業後即戦力として活躍できる自動車整備士としての人材を育成する。

また、令和 9 年 1 月から新たな自動車整備士資格制度が施行されるため、令和 8 年度入学生より新カリキュラムでの教育が開始となることから、二輪自動車整備における整備主任者や自動車検査員の役割を担うため、新たに教育すべき内容、充実すべき内容を精査して、現行教育と並行した教育準備を促進する。

イ カードクター級整備士コース

- (ア) 自動車整備士資格制度の施行に伴い、自動車の点検・整備・検査に係る専門的な知識及び技能（電子制御装置に係る内容）を有し、各種の整備用診断器を用いて応用的な故障探求ができる技能

水準を身につけさせる。

- (イ) 環境保全や安全管理に適應できる車の電子制御装置の発達や電気自動車の普及に伴い、総合的業務に對應できる整備士を育成する。
- (ウ) 最先端設備を揃え、高いレベルの技術を習得させ、インターンシップにおいて現場実習の機会を活用し、最新の情報を収集しながら社会で活躍でき、お客様にわかりやすく情報提供ができるスキルを身につけさせる。
- (エ) リサイクルを考慮した整備手法や、総合的な故障診断から整備計画の作成手法を習得させる。
- (オ) 一級整備士コース出身の卒業生を招いての経験談を生かしながら、国家試験対策授業に工夫をもたせ、一級小型自動車整備士試験合格率 100%を目指す。

ウ カードクター二級整備士コース

- (ア) 自動車整備士資格制度の施行に伴い、自動車全体に関する一般常識の知識及び技能を保有させ、単独で分解整備作業が行える水準まで身につけさせる。
- (イ) 新教育カリキュラム制度導入（サイクル型）で、学生の出席率向上と学習意欲アップを図るとともに、きめ細やかな教育を実践する。
- (ウ) 少人数制及び習熟度別クラスを編成し基礎を理解させ、自動車社会の多様なニーズに適應できるレベルの専門教育や失敗を恐れず、挑戦する勇気をもった人間性の育成を行う。
- (エ) 足廻りの分解整備から、エンジンに関わる分解修理等の実習に力を入れ、基本的な作業の反復練習を行いながら、就職後即戦力として働けるよう技術力向上に努める。
- (オ) 国家試験対策授業を色々工夫しながら二級自動車ガソリン・ディーゼル国家試験合格率 100%を目指す。

エ カードクター留学生ベーシックコース

- (ア) 日本語教育の強化を図り、N2 もしくは N3 に合格できるようなクラス編成による授業の創意工夫と教職員のスキルアップなどに取り組む。
- (イ) 地域に貢献することにより、日本の文化に触れさせ、また積極的に意見交換を行い、コミュニケーション能力を身につけさせる。
- (ウ) カードクター二級整備士コースの教育への円滑な導入を図るため、外部の自動車教習所と連携した合宿により普通自動車運転免許を取得させスキルアップを図る。

(2) 学生支援（進路指導含む）

- ア 各社ディーラー等と連携をとり、出張授業で安全環境などの最新の技術の習得や「インターンシップ」を、1 年生の 12 月に実施し、早めに就職に向けての意識改革を図り、希望会社への就職活動をサポートする。
- イ 履歴書作成・面接・企業へのアプローチ方法等について、外部講師や担任による個人指導を随時行い、卒業生からのバックアップ等のフォロー体制もとりながら就職率 100%を目指す。
- ウ 部外講師によるビジネスマナー教育の充実を図るとともに、教職員で月 1 回社会人としてのスキルを身につけさせるため、礼法指導を実施し、規律正しい挨拶を身につけさせる。
- エ OB 在籍企業等に出向き、業務見学や面談により積極的に情報収集をする。

(3) 募集・広報

- ア SNS やホームページ等の電子媒体の積極的な活用にも努めるとともに、高校訪問を含む各種広報手段の成果等のデータを継続的に収集・分析し、効率的・効果的な広報に努める。特に、Z 世代を意識した SNS の制作、発信を意識し、早期かつタイムリーに広報する。
- イ 地域の小学校・中学校・高等学校の体験学習を募集して積極的に受け入れるとともに、オープンキ

キャンパスやオンライン学校説明会を活用し、高大連携教育の深化・拡大に努めるとともに、産学連携を積極的に推進し、若者が興味を引く教育内容・要領に留意する。

ウ 通学圏内のＪＲ等公共交通機関沿線の高等学校を重視した高校訪問を年間計画に基づき行い、効率的・効果的な募集広報に努める。

エ 在学中の留学生に対し、学校施策やオープンキャンパス等の情報を積極的に提供して、ヒューマンネットワークや口コミによる募集広報の環境を整備する。

また、日本語学校及び専門学校等の訪問を積極的に推進して個別ガイダンスを実施するとともに、オープンキャンパス等の募集広報の終始を通じ、日本語能力がＮ２以上で、自動車整備に関心が高く、学習意欲も高い学生の確保に留意する。

オ オープンキャンパスで各社ディーラーとコラボ企画を継続し、現在の最新装備を備えている若者に人気の車を本校に持ってきていただき、試乗体験などのイベントを通じて自動車整備士に興味を持たせる。

(4) 学校評価

ア 学内外に高い評価を得ている就職率 11 年連続 100％及び一級及び二級自動車整備士国家試験合格 5 年連続 100％を目標にして良好な点を深化させる。

また、要望のあった地域との交流機会を醸成するとともに、令和 9 年の自動車整備士制度施行への対応を進める。

イ インターンシップ等による教育活動の充実を図る。

ウ 日本人については、入学時からきめ細やかな面談に努め、保護者を含めた将来設計を描かせるとともに、経済的理由による退学者を減らすため、日本学生支援機構や修学支援新制度の学生への周知を図る。特に、新入学生の退学者を減らすことに努める。

エ 留学生については、学業意欲の低下（日本語力）、経済的問題理由による退学者への対応を状況に応じて行う。

【自己点検評価の目的】

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

【評価の要領】

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、４段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

【評価項目】

- 1 教育理念・目標
- 2 学校運営
- 3 教育活動
- 4 学修成果
- 5 学生支援
- 6 教育環境
- 7 学生の受け入れ募集
- 8 財務

- 9 法令等の遵守・内部質保証
- 10 社会貢献・地域貢献
- 11 国際交流

【評価表記】

4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

【評価の結果】

1 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ自動車整備の要求に即応した即戦力として活躍できる一級自動車整備士、二級自動車整備士を育成・輩出し、我が国の自動車産業の技術向上に最大限寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど自動車整備業界のニーズに応えた教育体制を整えるとともに、日本人と外国人留学生を幅広く受け入れ、共に切磋琢磨するグローバルな環境を活かして職業人の養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

1-1 学校は教育理念・目的・育成人材像を定めていますか。	自己評価：3
-------------------------------	--------

(具体的取り組み)

「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送りだしたい」という教育理念のもと、自動車整備士を希望する学生・社会人を幅広く受け入れ、担任制により個々に応じたきめ細やかな教育を行なっている。

また、自動車整備業界で即戦力として活躍できるよう必要な平素の躰指導含め、国家試験合格に向け反復した問題への取組と解説により理解力を高めるよう促して自信を付けさせている。

(課題)

自動車業界の新技术等変化に対応できる即戦力となる人材像が抽象的である。

(改善策)

自動車業界との密接な連携による将来に必要な不可欠な人材像の具体化を図る。

1-2 学校における職業教育は適切に定められていますか。	自己評価：3
------------------------------	--------

(具体的取り組み)

国土交通省の指定校の専門学校として高度専門士及び専門士を育成するため、一級自動車整備士及び二級自動車整備士の国家資格取得に必要な規則に定められた基準時間以上の教育時間を設定し職業教育に取り組んでいる。また、業界団体の意見を踏まえインターンシップ等への参加による将来像の具体化を図るとともに、ビジネスマナー教育も計画的に実施し、社会人として即戦力となれるよう職業教育を重視したシラバス及びカリキュラムを定め取り組んでいる。

(課題)

令和8年度から施行される文部科学省の学校教育法改正に基づき、教育時間から単位制への移行準備が不十分である。

(改善策)

令和8年度からの単位制移行に対応するため、本年度カリキュラムの教育時間に基づき科目ごとの単位を早急に検討し、学則変更等必要な準備を促進する。

1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか。	自己評価：3
------------------------------------	--------

(具体的取り組み)

電気自動車及びハイブリッド等自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い最先端技術を有する一級メカニックコースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えている。また、日本人及び外国人留学生を幅広く受け入れ、共に切磋琢磨できるグローバルな環境を活かした職業人としての養成を行い、社会に貢献できる学校を目指している。

(課題)

日々進化し続ける自動車の先進技術を授業にも取り入れるよう行っているが、将来の教育を見据えた教材車両等、教育に必要となる教材の購入が進捗していない。

(改善策)

業界団体との連携の更なる強化及び幅広い情報収集の実施による将来構想のより具体化と教育に必要となる教材の明確化に取り組む。

1-4 学校の理念・目的・人材育成・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されていますか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

約30年余りに渡り、多くの自動車整備士を輩出してきた実績を踏まえ、ホームページ上での情報公開や学校パンフレットの配布、オープンキャンパス等の募集広報の段階から学校の理念・目的等について周知を図るとともに、入学後は、学生便覧の配布による教育理念の明示、学生・保護者に対し入学式・オリエンテーション・3者面談等のあらゆる機会を通じ、重複をいとわず説明を行っている。

(課題)

将来構想に関する具体化が進捗しておらず、学生及び保護者等への周知は実施できていない。

(改善策)

業界団体との連携の更なる強化及び幅広い情報収集の実施による将来構想のより具体化と、学生・保護者に周知すべき時期・内容・要領の検討を促進する。

1-5 学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか。	自己評価：3
---	--------

(具体的取り組み)

我が国の自動車産業の技術振興に寄与しうる有為な人材を育成するという理念のもと、実践的な実習教育を行っている。

(課題)

自動車産業のニーズの継続的な把握、教育目標及び育成人材像の適宜の見直し及び教育への反映がやや不十分である。

(改善策)

全国自動車大学校・整備専門学校協会（JAMCA）、福岡県自動車整備振興会、各社ディーラー、自動車関連企業等から配布資料等から社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への反映について継続的に分析し、教職員等は福岡県自動車整備振興会や各社ディーラー等の外部講習を計画的に受講してより高いレベルの教育の実施を推進する。

2 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中・長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果等を分析し、年度の教育カリキュラ

ム、就職支援、募集広報等についてより具体化した事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

2-1 学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか。	自己評価： 4
---------------------------------	---------

(具体的取り組み)

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め学生便覧の中でも明示している。

(課 題)

自動車整備士に対する社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討が必要である。

(改善策)

学校関係者評価会議等を活用した学校運営方針の継続的な検討を実施する。

2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されていますか。	自己評価： 3
-----------------------------	---------

(具体的取り組み)

「教育指針」を踏まえ、教育、就職支援、募集広報等について具体化し事業計画を定めている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

各事業計画の更なる具体化を図る。

2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか。	自己評価： 3
-------------------------------------	---------

(具体的取り組み)

法人の規定に学校運営組織、意思決定の権限・手続き等主要な事項が定められており、着実に実行している。

(課 題)

特になし。

(改善策)

経年変化による法人の規定改正等を踏まえた学校の規定の整備を推進する。

2-4 人事等に関する規定等は整備されていますか。	自己評価： 4
---------------------------	---------

(具体的取り組み)

法人の規定に定められている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

2-5 教育活動等に関する情報公開が適切になされていますか。	自己評価： 4
--------------------------------	---------

(具体的取り組み)

授業科目一覧表、シラバス、年度事業計画、自己点検・評価報告書等を学校ホームページに掲載している。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られていますか。	自己評価：3
---------------------------------	--------

(具体的取り組み)

学内統合情報システム S-W i n g を導入し、学生の出席・成績等の管理等、校務業務の効率化を図っている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

3 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等により、分かる教育、分からせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、放課後等を活用した学力に合ったきめ細やかな教育体制の中で基本に力を入れ、一級・二級自動車整備士合格率 100% 及び就職率 100% 達成に向けて全教職員一丸となり取り組んでいる。また、自動車に関連する各種資格取得について積極的に奨励している。

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が査定されていますか。	自己評価：3
---------------------------------------	--------

(具体的取り組み)

教育理念に基づき教育課程を編成し、教育実施方針により理論学習と実践学習のバランスのとれたカリキュラムを具体化している。

(課 題)

特になし。

(改善策)

学生の現状に応じた適宜の修正についても検討する必要がある。

3-2 教育理念・育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

国土交通省の指定校としての基準時間以上に学習時間を確保し、授業科目一覧表、シラバスで明確化されている。

(課 題)

令和 6 年度国家試験は、一級自動車整備士 33% (3 名中 1 名合格)、二級自動車整備士ガソリン 100%、ジーゼル 100%) であったことから、引き続き教育到達レベルをより具体化して学習時間を確保する必要がある。

(改善策)

学生の個々の特性・能力に応じた教育到達レベルの設定と放課後を含めた融通性ある学習時間を確保する。

3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されていますか。	自己評価：3
-------------------------------	--------

(具体的取り組み)

授業科目一覧表、シラバスで体系的に整理され明確化されている。

(課 題)

令和 6 年度国家試験は、一級自動車整備士 33% (3 名中 2 名不合格) と低調であったことから、3・4 年生のカリキュラムの体系的な見直しが必要である。

(改善策)

3・4年生の学生個々の特性・能力を評価分析し、融通性ある学習時間の確保と努めて早期からの国家試験対策を実施できるようカリキュラムの体系的な見直しを実施する。

3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方針の工夫・開発が実施されていますか。	自己評価：4
--	--------

(具体的取り組み)

カリキュラムに専門講師によるビジネスマナー等に関する教育を実施して、模擬面接等により実践的、実際の職業教育に取り組んでいる。

(課題)

実践的、実施的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの更なる充実と就職先関係企業等のニーズに合わせた職業教育の見直しが必要である。

(改善策)

実践的、実際の職業教育の視点に立ったカリキュラムの内容変更と工夫、就職先関係企業等のニーズの教育内容への取り込み。

3-5 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていますか。	自己評価：2
---	--------

(具体的取り組み)

福岡県自動車整備振興会、各ディーラー及びインターンシップにおける現場意見を聴取し、カリキュラムや実施要領に反映させている。

(課題)

カリキュラムの変更のためには積極的な現場意見の聴取の方法の検討が必要である。

(改善策)

学校関係者評価会議、関連企業等来訪時及び卒業生等あらゆる機会を捉えた積極的な意見聴取を推進する。

3-6 関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられていますか。	自己評価：3
---------------------------------------	--------

(具体的取り組み)

企業研修やインターンシップが体系的にカリキュラムに位置付けられている。

(課題)

実践的な職業教育のカリキュラムへの反映がまだまだ不十分であるとする。

(改善策)

より実践的な職業教育の取り込み科目の検討と教育内容の充実を図る。

3-7 授業評価の実施・評価体制はありますか。	自己評価：3
-------------------------	--------

(具体的取り組み)

教職員に対する自己点検・評価アンケートの実施、校長をはじめ各教員相互の授業研修等を行っている。

(課題)

授業評価の基準、実施要領等その評価体制の検討が不十分である。

(改善策)

授業評価の実施、授業評価体制の検討と実施要領等の具体化を図る。

3-8 成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか。	自己評価：3
------------------------------------	--------

(具体的取り組み)

学則に定めるとともに、学校ホームページでも公表している。また、全学生に対して入学時のオリエンテーション時に周知徹底している。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

3-9 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

国家試験合格を念頭においてカリキュラムを構築するとともに、国家試験対策担当教員を指定して組織的に教育を行っており、国家試験前は補習等実施して国家資格取得のサポートを万全の態勢で行っている。また、日本語能力、運転免許をはじめ、自動車整備士として必要な各種資格の取得について積極的に指導している。

(課題)

令和6年度国家試験は、一級自動車整備士 33% (3名中2名不合格)、二級自動車整備士ガソリン 100%、ジーゼル 100%であったことから、一級自動車整備士の合格率向上の指導体制を検討する必要がある。

(改善策)

学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築と国家試験等各種資格合格に向けてのカリキュラムの検討を推進する。

3-10 人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的取り組み)

自動車整備関連の多様な経歴と実績及び資格を有する専任教員及び非常勤職員の確保に苦労している。

(課題)

一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有教員及び非常勤職員の確保が厳しい状況である。

(改善策)

自動車関連企業等との連携による各ディーラー一定年退職者、卒業生等を通じた一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者に関する継続的な情報収集とハローワークにおける教職員募集の継続的な実施に取り組む。

3-11 関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	自己評価：2
---	--------

(具体的取り組み)

福岡県自動車整備振興会や自動車関連企業等との連携を維持し、優れた人材について広範囲に情報収集するとともに、逐次教職員を募集するとともに、採用業務を積極的に推進している。

(課題)

一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有教員及び非常勤職員の確保が厳しい状況である。

(改善策)

卒業生等を通じた一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者に関する継続的な情報収集及び教職員募集の実施、自動車関連企業等との連携の更なる強化による教職員の確保に取り組む。

3-12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

福岡県自動車整備振興会等で実施される自動車関連分野に係る研修会等に教員を参加させて、必要な知識・技能を習得させ指導力育成など資質向上に取り組んでいる。

(課題)

カリキュラムの進度により研修会等実施時期によっては、教員数に余裕が無いため参加できないことがある。

(改善策)

継続的な教員募集の実施と採用による教員確保により、研修会等への参加の機会を増加させ指導力育成など資質向上を促進する。

3-13 職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか。	自己評価：3
--------------------------------	--------

(具体的取り組み)

全国自動車大学校・整備専門学校協会（JAMCA）研修会、自動車整備振興会整備主任者研修、福岡県人権・同和教育研修会及び各社ディーラー主催による関連分野に係る研修会等に教職員を参加させ能力の向上を図り、必要な情報等を教職員間で共有している。

(課題)

カリキュラムの進度により研修会等実施時期によっては、教員数に余裕が無いため参加できないことがある。

(改善策)

継続的な教員募集の実施と採用による教員確保により、研修会等への教職員の参加機会を増加させ能力の向上に資する。

4 学修成果

一級自動車メカニックコース（カードクター一級整備士コース）、メカニックコース（カードクター二級整備士コース）、カードクター留学生ベーシックコースそれぞれ明確な目標を設定し、結節時の評価判定と個々に応じたきめ細やかな補備教育の実施により段階的に実力向上を図ることができた。

令和6年度国家試験においては、一級自動車整備士33%（3名中2名不合格）、二級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル100%であった。一級自動車整備士が2名合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえよく分析・検討し、教員の教授要領の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

令和6年度は日本人7名、留学生2名の退学者を出したことから、その要因及び環境を分析して次年度の退学率軽減策に反映する。この際、現在実施している担任制及び自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握は継続して実施し、退学率軽減策及び学生の現況を教職員間で適宜情報共有することにより組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っていく。

就職に関しては、日本人及び留学生ともに100%就職することができており、着実に就職指導の成果が上がっている。

4-1 就職率向上が図られているか。	自己評価：3
--------------------	--------

(具体的取り組み)

放課後等を活用した個別の採用面接対応等の実施により、日本人、留学生ともに100%就職することができている。

(課題)

一級自動車メカニックコース（カードクター一級整備士コース）、メカニックコース（カードクター二級整備士コース）の対象者全員が第一希望の会社に就職できるとは限らない現状がある。

(改善策)

より好条件で第一希望の会社に就職できるよう会社等における採用試験について情報収集するとともに、個別の面接指導を努めて早期から実施して面接等における応用力の向上を図る。

4-2 資格取得率の向上が図られているか。	自己評価：3
-----------------------	--------

(具体的取り組み)

国家試験合格を念頭においてカリキュラムを構築するとともに、国家試験対策担当教員を指定して組織的に教育を行っており、国家試験前は補習等実施して国家資格取得のサポートを万全の態勢で行っている。また、日本語能力、運転免許をはじめ、自動車整備士として必要な各種資格の取得について積極的に指導している。

(課題)

令和6年度国家試験は、一級自動車整備士 33%（3名中2名不合格）、二級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル100%であったことから、一級自動車整備士の合格率向上の指導体制を検討する必要がある。

(改善策)

学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築と国家試験等各種資格合格に向けてのカリキュラムの検討を推進する。

4-3 退学率の軽減が図られているか。	自己評価：3
---------------------	--------

(具体的取り組み)

自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握に努めるとともに、担任制によりきめ細やかな指導を行っている。また、教職員間の情報共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

(課題)

学力不足及び学習意欲の低下等により令和6年度は日本人7名、留学生2名の退学者を出したことから、その要因及び環境を分析して次年度の退学率軽減策に反映する必要がある。

(改善策)

現在実施している自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握及び担任制は継続して実施するとともに、分析・検討した退学率軽減策及び学生の現況を教職員間で適宜情報共有することにより組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っていく。

4-4 卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	自己評価：2
------------------------------	--------

(具体的取り組み)

就職担当をはじめ教職員の会社訪問時を活用して現状を把握するとともに、各就職先で活躍する卒業生を学校案内等に掲載する等、卒業後の活躍状況の把握、評価及び広報に努めている。

(課題)

企業訪問等で卒業生の状況を確認しているが、自動車整備の離職率が高い現状があり、また、卒業生に関するデータの学校として取りまとめられておらず、卒業生の活躍及び強化の把握が不十分である。

(改善策)

自動車関連業界や各ディーラー等に協力いただき、各会社で活躍する卒業生の名簿の整備に努め、同窓会（後援会）の設立について検討を促進する。

4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的取り組み)

インターンシップや就職活動等の機会を活用して、卒業生の現状把握に努め、キャリア形成の降雨化を把握し、必要な情報を教職員間で共有して教育活動の改善に努めている。

(課題)

キャリア形成の効果の把握は、就職担当教員や卒業時の担任による情報収集のみが主体となっており、卒業後の効果の把握が十分把握出来ていない。

(改善策)

卒業後のキャリア形成について就職先企業等に対するアンケート調査の実施について検討するとともに、インターンシップや就職支援の機会を活用して卒業生の現状を把握し、キャリア形成の効果について把握、分析して教育活動への反映について検討を促進する。

5 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当教員によるきめ細やかな就職・進路指導により 100%就職が達成されており、そのほとんどの学生が希望通りの会社に就職ができている。

経済的な支援に関しては、日本人学生に対しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように学生、保護者に対して入学時から説明会を計画的に実施してきめ細やかな支援体制を構築し、懇切丁寧な対応に努めている。また、留学生に対しては、学校独自の特別奨学金制度を保持するとともに、留学生受入れ促進プログラムを活用できるよう対応に努めている。

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	自己評価：3
-----------------------------	--------

(具体的取り組み)

就職担当、クラス担任を中心に履歴書記入要領、面接指導及び進路・就職相談等を行い、学生の希望に応じた進路指導、就職支援が実施できる体制を整備している。

(課題)

就職担当はクラス担任も兼務していることから業務多忙となり、就職活動時期も集中することから学生に対して十分指導できる体制とは言い難い。

(改善策)

就職担当を補佐できる教職員を補佐者として指定して、就職活動に係る情報共有を実施して、進路指導、就職支援の体制の強化、充実を図る。

5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。	自己評価：3
--------------------------	--------

(具体的取り組み)

クラス担任制によるほか、事務職員を含め相談内容に応じた相談体制を確立して総合的な対応を行っている。また、教職員から積極的に会話をする等相談しやすい環境の醸成を図った。

(課題)

現状においては担任に任せきりの対応となっており、体制としての対応が不十分である。

(改善策)

担任を中心として相談受け態勢を確立して、相談受け内容に応じて組織として柔軟に対応できる教職員の体制を検討する。

5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	自己評価：3
------------------------------	--------

(具体的取り組み)

日本人については、総合型選抜入試（AO入試）、指定校推薦等学校独自の特待生制度により校納金の一部免除を行うとともに、事務職員による高等教育修学支援新制度を含め日本学生支援機構の奨学金制度等利用し易いきめ細やかな支援体制を整備している。また、留学生については、都築学園留学生特別奨学金制度により校納金の一部を減額するとともに、留学生受入れ促進プログラムの学習奨励費を活用する等支援体制を整備している。

(課題)

学生本人の高等教育修学支援新制度及び日本学生支援機構の奨学金制度等への関心が低く、手続きに時間を要する場合がある。

(改善策)

学生本人及び保護者への合格者出校日等努めて早期からの積極的な情報提供、また、クラス担任を含めた継続的な新修学支援制度に関する資料回覧による普及教育を実施する。

5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	自己評価：3
-------------------------	--------

(具体的取り組み)

入学時の胸部レントゲン撮影健康診断及び10月に全学年総合健康診断を行うとともに、クラス担任等と連携した日々の健康管理指導を実施している。また、体調不良者に対しては、事務室で学校常備薬を渡し、病院の早期受診を促している。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	自己評価：2
----------------------------	--------

(具体的取り組み)

クラブ活動は学校として設けていないが、地域の清掃活動のボランティアは積極的に行っている。

(課題)

教職員の課外活動に対する支援体制は整備できていない。

(改善策)

課外活動に対する学生の意見を聴取し、教職員で必要な支援体制を確立する。

5-6 保護者と適切に連携しているか。	自己評価：3
---------------------	--------

(具体的取り組み)

保護者との三者面談等の進路相談の場を設定するとともに、必要な情報を適時電話連絡、家庭通信やホームページ等で提供し、保護者が相談し易い環境作りに努力している。

(課題)

特になし。

(改善策)

学級、学年、学校単位での情報提供のための新聞の発行について検討する。

5-7 卒業生への支援体制はあるか。	自己評価：2
--------------------	--------

(具体的取り組み)

卒業生の就職先へ適宜会社訪問の機会を活用して現状を把握するとともに、インターンシップ時に卒業生の激励や活躍状況の把握を行っており、卒業後も相談があれば旧担任を主としてサポートを実施している。

(課題)

卒業生に対する組織的な支援体制は整備できていない。

(改善策)

同窓会（後援会）の設立について検討し、就職先企業との連携を図り、支援体制を構築する準備を推進する。

5-8 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがおこなわれているか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

都築学園内関連校とは適宜情報共有し連携して、オープンキャンパスへの参加、入学と一貫したキャリア教育・職業教育に取り組んでいる。また、限定的ではあるが一部高等学校において体験型授業を実施してキャリア教育・職業教育に取り組んでいる。

(課題)

都築学園内以外の高等学校との連携が不十分であり、キャリア教育・職業教育が行われていない。

(改善策)

県内広報の場を活用して高等学校との連携を図り、積極的に体験型授業について調整する等キャリア教育・職業教育の実施を推進する。

6 教育環境

本校は、福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており通学に適した環境であり、また、本校近傍には各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域となっていることから、通学時等において自動車整備士としての職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍にも、複数のディーラーや自動車整備工場が数多く存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級自動車整備士及び二級自動車整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も国が定める法令に基づき定期的に受検しており、合規適正に維持・管理している。

6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	自己評価：3
---------------------------------------	--------

(具体的取り組み)

学校設置基準に基づき施設・設備を維持するとともに、計画的に必要な改修・修繕等に取り組み整備している。

(課題)

実習車、教材の老朽化が顕著となっており、逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保が必要である。また、自動車整備士制度の変更に伴い、実習車に入れ替え、増加について検討が必要である。

実習場内に不用品が多く存在していることから実習場スペースを圧迫している。

(改善策)

老朽化対策として自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用を図るととも

に、安全性から必要な部分は計画的に更新する。また、関連企業等との連携による実習教材等の更新を推進する。不用品については、計画的に処分・廃棄を積極的に推進する。

6-2 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか。	自己評価：3
---	--------

(具体的取り組み)

就職担当教員を中心としてインターンシップ先の確保及び研修状況の把握に努めている。学校内の実習施設については、老朽化が顕著となってきたが、教育は小グループ編成により効果的かつ効率的な体制確立に努めている。

(課題)

学校内実習施設は、実習車、教材の老朽化が顕著となっており、逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保が必要である。また、自動車整備士制度の変更に伴い、実習車に入れ替え、増加について検討が必要である。

実習場内に不用品が多く存在していることから実習場スペースを圧迫している。

(改善策)

老朽化対策として自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用を図るとともに、安全性から必要な部分は計画的に更新する。また、関連企業等との連携による実習教材等の更新を推進する。不用品については、計画的に処分・廃棄を積極的に推進する。

6-3 防災に対する体制は整備されているか。	自己評価：3
------------------------	--------

(具体的取り組み)

教職員の防火管理者を指定し、年1回防災訓練を実施するとともに、法令に基づき年2回消防設備点検等を受検し、防災体制を整備している。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

7 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、自動車整備士への夢と希望を持った学生、工業系自動車科・コース以外の出身者、社会人、留学生を、幅広く受け入れている。

九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与してそれぞれの担当区域内の高校訪問、事務職員による各日本語学校・専門学校広報を実施し募集広報を行っている。令和6年度は福岡県以外の九州各県の高校訪問を実施し募集広報を強化した。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体等により国家資格試験合格状況や就職状況等の教育成果を正確・確実に伝えている。

7-1 学生募集活動は、適正におこなわれているか。	自己評価：3
---------------------------	--------

(具体的取り組み)

教職員による広報会議に基づき、年度における広報活動の取り組み方の認識共有を図るとともに、広報担当区域の割り当てにより県内高校訪問を行うとともに、事務職員による日本語学校広報、専門学校広報、会場ガイダンス等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っている。

(課題)

都築学園内関連校以外の日本人入学者が低調である。

(改善策)

高校進路指導担当者との連携強化を念頭においた広報活動の実施による日本人入学者の確保、各日本語学校・専門学校との連携による留学生募集広報の推進と常統的な留学生入学者の確保を推進する。

7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	自己評価：3
----------------------------------	--------

(具体的取り組み)

35年余りの高い就職実績と国家試験合格までの教育ノウハウ、数多くの卒業生が自動車業界で活躍していることを、県内外広報、各日本語学校・専門学校広報、オープンキャンパス及び会場ガイダンス等を通じて周知に努めている。

(課題)

特になし。

(改善策)

学生募集広報に必要な資料の作成配布と広報活動における情報共有の実施により認識の統一を図る。

7-3 校納金は妥当なものとなっているか。	自己評価：3
-----------------------	--------

(具体的取り組み)

県内の同種専門学校の校納金と比較しても安価な設定となっており、保護者及び学生に配慮した妥当なものと思われる。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

8 財務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	自己評価：3
-------------------------------	--------

(具体的取り組み)

学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

(課題)

各課程定員数に応じた安定的な学生数の確保が重要であるが、令和6年度は退学者数が少し多かったようである。

(改善策)

効果的かつ効率的な募集広報による入学者を確保するとともに、入学後の担任を中心とした教職員の組織的な学生指導等の体制を確立する。

8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	自己評価：3
-------------------------------	--------

(具体的取り組み)

物価高騰、学生数の増加により光熱水費等色々と必要経費も増えているが、色黒印刷、裏紙使用等削

減できるところから積極的に経費削減に努めている。前年度に比し、県外広報に取り組んだため募集経費がやや増加している。

(課 題)

安定的な学生数の確保の検討、老朽化設備の更新が必要である。

(改善策)

学生募集広報の積極的な実施による学生数の確保、老朽化設備の安全事項を優先した計画的な更新計画を作成する。

8-3 財務について会計監査が適切に行われているか。	自己評価： 4
----------------------------	---------

(具体的取り組み)

法人の規程に基づき、令和6年度会計監査においては小口現金等の実査、運営状況、学生募集等のヒアリングが行われたが改善事項等もなく、適切に実施されており問題なし。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。	自己評価： 4
-------------------------	---------

(具体的取り組み)

法人本部と連携を図り、本部で作成された財務情報を学校ホームページにおいて公開している。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

9 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の自動車整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、国土交通省九州運輸局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、年度末に自己点検・評価を行い、問題点を明確にしてその改善に取り組むとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

9-1 法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。	自己評価： 3
-----------------------------------	---------

(具体的取り組み)

法令及び専修学校設置基準に基づき、法人本部と連携を図りつつ適正に校務運営を行っている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

9-2 個人情報に関してその保護のための対策がとられているか。	自己評価： 3
---------------------------------	---------

(具体的取り組み)

法人の規程に基づき、個人情報資料の保管を適切にする等対策を行っている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

9-3 自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか。	自己評価：3
------------------------------	--------

(具体的取り組み)

教職員及び事務職員に対して年度末に自己点検・評価アンケートを行い、現業務の課題を明確にしてその改善策を検討している。

(課題)

自己評価に基づく問題点の明確化と分析検討が不十分である。

(改善策)

問題点の明確化とその背景を含めた分析検討を実施して、改善策の具体化と積極的な取り組む体制を確立する。

9-4 自己評価結果を公開しているか。	自己評価：3
---------------------	--------

(具体的取り組み)

令和元年度より毎年度自己点検・評価結果を学校ホームページで公開している。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

10 社会貢献・地域貢献

地域ボランティアの一環として学校周辺地域の校外美化運動により清掃活動を定期的実施するとともに、東光公民館における地域住民と留学生の交流行事及び献血事業に参加して社会・地域貢献に取り組んでいる。

若者の車離れが急速に進んでおり、また、車・バイクに興味を持つ若者が減少する中、自動車整備士の仕事について高校生に幅広く知ってもらうため体験型学習等の授業を行い社会貢献に取り組んでいる。

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

地域ボランティアの一環として学校周辺地域の校外美化運動により清掃活動を定期的実施、また、東光公民館における地域住民と留学生の交流行事及び献血事業に参加して社会・地域貢献に取り組んでいる。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	自己評価：3
------------------------------	--------

(具体的取り組み)

地域ボランティアの一環として学校周辺地域の校外美化運動により清掃活動を定期的実施するとともに、東光公民館における地域住民と留学生の交流行事への参加及び献血事業に参加する等、学生のボランティア活動を奨励、支援している。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	自己評価：3
---	--------

(具体的取り組み)

一昨年まで東光中学校との交流会を実施していたが、令和6年度は実施できておらず、また、地域に対する公開講座・教育訓練の受託も実施できなかった。

(課 題)

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢づくりが必要である。

(改善策)

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢を含めた検討を推進する。

11 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生ベーシックコースを設置し、海外の多くの国からの留学生を幅広く受け入れ、日本人と共に教育を受けるグローバルな環境を活かして、日本人と留学生の職業人としての養成を行い、国際社会に貢献する学校を目指している。

11-1 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っていつているか。	自己評価：3
-----------------------------------	--------

(具体的取り組み)

令和6年度は、各日本語学校・専門学校を4～6回訪問し、進路指導担当者との関係を構築し常続的な受験者を確保するとともに、校内・会場ガイダンスにおいて本校の特色を積極的に発信する等留学生ベーシックコースを主として留学生の受け入れを推進している。また、就職についても連続して100%を達成しており戦略的に取り組んでいる。

(課 題)

第一希望の会社に就職できない留学生が複数名存在する。

(改善策)

就職に必要な能力、特に日本語によるコミュニケーション能力の向上に取り組むとともに、インターンシップの機会等を活用し、自動車整備関連企業の外国人留学生雇用の理解を促進し、安定的な就職先を確保する。

11-2 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	自己評価：3
--	--------

(具体的取り組み)

関係法令に基づき、出入国管理局への報告を含め、留学生の受け入れ、在籍管理等に係る手続きを適切に行っている。

(課 題)

特になし。

(改善策)

特になし。

11-3 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	自己評価：3
---	--------

(具体的取り組み)

クラス担任を主として、全教職員で留学生に関する学習及び生活指導に係る情報を共有し、適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。

(課題)

教職員に留学生の母国語が理解できる者がいないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話が難しくなっている。

(改善策)

パソコン、携帯電話等の翻訳機能アプリの活用を積極的に推進する等、学生とのコミュニケーションを図るツールについても検討が必要である。

11-4 学習成果が国内外で評価される取り組みをおこなっているか。	自己評価：3
-----------------------------------	--------

(具体的取り組み)

本校においては、専任講師による日本語能力向上を重視し、卒業時にはほぼ N2 取得できるよう積極的に取り組んでおり、また、学科においてはサイクル型授業を推進して学生の理解を促進しており、実習においては少人数区分により学生個々の能力向上を図り、就職先企業において即戦力となる教育を実施している。

(課題)

各学習成果の適切な管理と把握、分析と反映が必要である。

(改善策)

各学習成果の適切な管理と係数的な把握、それに基づく教育内容の分析と改善事項の反映について取り組んでいく。また、学習成果については学校ホームページ等での公表していく。